

## 心にゆとりをくれたもの

Builder：井坪工務店 Place：伊那市 Family：夫婦、子ども2人

家族の時間をもっと大切にしようと移住したTさん家族。移住先は人気移住地域ランキングで全国市区町村1位\*になった伊那市。家づくりや地域とのお付き合いを通じて、家族が互いに向き合う心のゆとりを得ることができました。

※注) 移住仲介サイト「SMOOUT」(2023年4~9月)調べ



景観が素晴らしく、生活にも困らない。  
伊那市を移住の地に決める

伊那谷を南北に流れる天竜川の西側、正面に南アルプスを臨み、背後に中央アルプスが控える見晴らしの良い場所にT邸があります。ここを移住の地に決めた理由は、何よりこの抜群の景観でした。

天竜川をもう少し南に下っても、北へさかのぼっても似た風景は見られます。ここ伊那市を選んだのは、大きな病院もあり産婦人科をはじめ多様な診療科が揃っていること、選択肢が狭いことを心配していた子どもたちの学校選びも、探求型教育で有名

な小学校があることを知ったからです。さらに、移住にあたり東京での仕事をきっぱり辞め、公務員として働こうと考えたご主人にとって、伊那市で市役所職員の募集をしていたことも決め手となりました。

信州への移住を検討するとき気になるのが降雪量ですが、この辺りの気候は雪が少なく冬の晴天率が高いのが特徴です。夫妻の出身地の愛知県や東京都へはほぼ等距離なのも好都合でした。家族は2021年に伊那へ移住し、ご主人は伊那市役所、看護師資格をもつ奥様は隣の病院に職を得て、賃貸住宅で2年過ごした後、2023年春に念願のわが家を建てました。

A\_手づくりの料理を食卓に並べて家族で囲む。当たり前だからこそ、そうした時間が愛おしい。 B\_窓の外には伊那谷の里山の穏やかな山容が広がる。伊那谷のある南信州は県内でも比較的雪が少なく過ごしやすい。 C\_東西にアルプスがそびえる伊那谷では南北方向の風が多く、南寄りの風は心地いい。

B  
C

A



## 家族が向き合う時間を 大切にした家づくり

ご主人がそれまでの仕事を辞めてまで家族で移住することを決意したのは、都会の無機質な環境ではなく自然に囲まれた土地で、子どもたちにのびのび育てほしかったからです、家族の時間をもっと大切にしたいからでした。

家づくりでもそこにいちばんの重きを置きました。夫妻がかつて打ち込んでいた野球やソフトボールのキャッチボールのように、家族同士で気持ちのキャッチボールがしやすい家にしよう、と。

家づくりのパートナーに選んだのは、飯田市に本社のある井坪工務店です。地域の



D,E\_週末にはご主人もキッチンに立ち、慣れた手つきで包丁を使う。段取りもスムーズで、料理が出来上がる頃には準備に使った調理道具の片付けはすっかり済んでいる。この日のメインはビーフシチュー。 F\_薪ストーブは玄関土間に置いた。掃除がしやすいし、外から薪を運んでくるのにも便利。上がり框が格好の腰かけになる。 G,H\_ダイニングテーブルの奥にスタディコーナーを設けた。学校の勉強はここです。子どもたちが勉強をしている様子を、家事をしながらでも見守ってあげられる。カウンターも左隣の棚も大工による造作家具。



ビルダーなら土地や気候風土に詳しいし、建てた後も安心だというのが理由です。なかでも井坪工務店は、自分たちの話をじっくり聞いてくれた点が好印象でした。工場見学で実際に家づくりに使う木材を見ながら、施工してくれる大工さんの話を聞いたのも大きなポイントでした。暮らす人と建てる人の間で、ちゃんとキャッチボールができています。そんな安心感を覚えました。

間取りはリビングを中心にしています。ダイニングテーブルはキッチンカウンターと横並びに配置しました。そのすぐ向こうにはスタディコーナー。食事のときも、料理しているときも、学校の宿題に取り組む

ときも、いつも家族が近くにいます。週末には料理自慢のご主人が腕を振るって食卓を彩るのだとか。玄関土間に据えた薪ストーブの周りも、家族が自然と集う空間です。ここでも食事をしたり、お茶を飲んだり、夜にはお酒をいただいたり。ダイニングやリビングでするのは、ちょっと違った話もできそうです。

主寝室は1階で、キッチンやダイニングの双方からアクセスできる回遊動線を設けました。共働きの夫妻にとって平日の朝夕の時間は有効に使いたいもの。家づくりでのこうした配慮も、家族と向き合うゆとりを与えてくれます。





I\_吹き抜けのあるリビングがこの家の中心。床に張ったアカマツをはじめ木をふんだんに使っている。I\_地元で獲れた野菜もごちそう。畑をつくっているご近所さんが、おすそ分けしてくれるときもある。ヨーグルトにかけてあるのは、ご主人手作りのルバーブジャム。K\_子供部屋は2階にあるが、お子さんは家にいる時間のほとんどをリビングで過ごす。自然とそこに居たくなる雰囲気は、子どもたちにも分かるのだろう。

周りの自然や地域の人も  
関係を築くキャッチボールを

この家ができて初めての夏、ご主人の実家のある愛知県からご両親や兄弟がやってきて、庭でバーベキューパーティーをしました。子どもたちがはしゃいでも大人たちが盛り上がり、目の前には畑が開けているだけ。咎める人はいません。

伊那に暮らすきっかけになった山々の眺めは、季節ごとに目を楽しませてくれます。



「冬の寒さは厳しいですが、日の傾きで刻々と表情を変える南アルプスを眺めていると癒やされます」

東京にいたときは、子どもたちのために有料の施設へ出かけることがよくありました。「ここでは身近な自然が彼らの遊び場です。以前より外で元気に遊ぶことが増えました」。何か特別なことをしなくても、しようと思わなくても、心が満たされていくように感じるのだと言います。

T邸の玄関のニッチ棚に生けてあったのはコスモス。きっと道の辺に咲いていたの





L

M

N

L\_薪ストーブはぜひ導入したいアイテムだった。火の周りには自然と人が集まる。火を眺めているのは楽しい。その熱で料理した食事は格別においしい。 M\_庭にアウトドアテーブルを置いたら、すぐに第二のダイニングになる。薪にする丸太も即席のベンチだ。家族の向こうに咲く白い花は蕎麦。 N\_雲の向こうには中央アルプスが峰を連ねる。正面には仙丈ヶ岳や甲斐駒ヶ岳、鋸岳など南アルプスの山々を見晴らす。

を摘んできたのでしょう。薪ストーブの薪も森からのいただきものです。自然がもたらしてくれる恵みは、小さなもの形のないものも気持ちを潤し、温めてくれます。

移住前に心配した人間関係は、賃貸住宅で2年間過ごしたことで地域の人の人間性がわかり、不安がなくなりました。仕事上のお付き合いやママ友など人とのつながりが今、徐々に広がっています。

キャッチボールで大切なのは、投げると

きは相手の取りやすいところを目がける、取るときは足を動かして自分から取りやすいところに動くこと。家族の間にも、周りの自然や人とのお付き合いにも、言えることだと思います。

そのことを心得るご主人は今、市役所で移住相談の課に所属しています。移住先で全国市区町村の1位になった伊那市。これから伊那へ移住したいと思う人にとって、きっと頼もしい存在になることでしょう。



OWNER Tさん

#### POINT 1 信州に暮らしてよかったこと

自然に囲まれた暮らしで心にゆとりができたこと。交通事情で車に乗るようになりましたが、暮らしの幅が広がりました。

#### POINT 2 家づくりでよかったこと

建ててからも万全な信頼のおける工務店に出会えたこと。家族の時間をゆつくり育てられる家にできたこと。

#### POINT 3 先輩としてのアドバイス

移住に求めるものは人それぞれ。絶対譲れないこと、なんとか我慢できること等、家族でじっくり話しましょう。家を建てる前に賃貸住宅でしばらく暮らしてみることをおすすめします。

有限会社 井坪工務店  
飯田市上郷黒田 693  
0265-22-5262(代)  
<https://itsubo.co.jp>